

東日暮里保育園の移転と民設民営化に係る説明会 議事要録

第1回 平成29年3月28日(火)17時30分から18時30分 出席17世帯18名
 第2回 平成29年3月28日(火)19時00分から20時00分 出席8世帯10名
 会場 東日暮里保育園遊戯室

内 容

- 1 開会
- 2 出席職員紹介
- 3 子育て支援部長挨拶
- 4 ご意見、ご要望に対する区からの説明
- 5 質疑応答
- 6 閉会

主な質疑応答

項目	質問	回答
民営化	区内保育園のネットワーク化による協働体制の構築を具体的にどのように進めていくのか。	ネットワークの要となる保育事業研究園の具体的な中身をどのようにしていくのがベストなのか現在検討中です。 民営化する園については、施設の老朽化や全体の退職者の状況、代替の土地や施設があるかなど、総合的に検討していきます。
	今後の公設公営保育園は保育事業研究園として研修や連携・協力を行うとあるが、実際に新園に対して具体的にどの程度の視察や研修などのフォローをしてもらえるのか。	保育事業研究園の具体的な内容は検討中であり、可能な限り早期にお示ししたいと考えております。

項目	質問	回答
<p>民営化 (続き)</p>	<p>民営化の理由として、財源を確保するとあったが、確保した財源を具体的に何に使うか明らかにしてもらわないと、民営化の必要性がわからない。</p>	<p>確保した財源は、保育施設の整備や病児病後児保育事業、保育士を確保するための住居の補助や奨学金制度などに充当していきます。</p> <p>また、園庭のある保育園を作るためには、相応の広さの用地が必要になりますが、国や都の補助はありません。</p> <p>区ではこれまで、東日暮里三丁目や西日暮里六丁目で用地を取得してきましたが、できるだけ多くの認可保育園を整備するためには、多くの財源が必要です。</p> <p>民営化は区の負担する経費を減らすのではなく、国や都から財源を確保する取組であることをご理解いただければと思います。</p>
<p>建替え・ 移転</p>	<p>移転は園を建て替えた場合の見積りを取った上での判断か。また何社から見積りを取ったのか。</p> <p>具体的な数字を示してもらわないと納得することができない。</p> <p>移転先では、ホールや園庭が狭くなるかどうか、大体のイメージが見えていると思うが、どのような感じなのか。</p> <p>提案する法人側に全ての裁量があるのか。</p>	<p>現地建替え、移転双方のメリット・デメリットを勘案し、これまでの実績を参考に必要な費用を試算した上で移転を選択しました。</p> <p>具体的な保育園の設計内容は、今後の公募の中で提案されます。</p> <p>園庭については、園舎の配置によっては、認可基準を満たす園庭を確保することができると考えております。</p> <p>公募要項で設定する定員に応じて、施設や園庭などの必要最低限の面積が決まります。</p> <p>これは、都の認可基準として守らなければならない、その条件を設定した上で公募を行い、より良い提案を選んでいくこととなります。</p>

項目	質問	回答
職員の質	<p>公募条件における園長の実務経験年数が7年以上で、各クラスの担当保育士の実務勤務年数が3年以上とあるのはなぜか。</p>	<p>実務経験年数はこれまでの公募条件を参考にしたものです。</p> <p>保護者の皆様からのご意見・ご要望を伺い、選定委員会で決めていくこととなります。</p> <p>実務経験年数は自治体ごとにいろいろな考え方で設定しており、区の場合、他の自治体の例を参考にしながら、7年と3年で設定して公募してきました。</p>
	<p>区の保育士のキャリア（実務経験年数）を教えてください。</p>	<p>区立園長・副園長の経験年数は平均33年、区立園の保育士の経験年数の平均は18年、私立園の保育士の経験年数の平均は7.6年です。</p> <p>保育士の経験年数は大事な視点ですが、これまでの公募では、経験年数に加えて、法人の保育に対する考え方や研修体制の整備など総合的な観点から選定してきました。</p> <p>経験年数は最低基準と考えていただき、実際に選定委員が現場を見て判断し、選定していくことを考えています。</p>
	<p>保育士の経験年数の条件だけでは、保育士が頻繁に変わらない保障にはなっていないので、保護者の理解を得にくいと思う。</p> <p>区の職員がたまに見に行くぐらいでは保育の質の確保を保障することにはなっていないと思う。</p>	<p>選定委員会の中で、平均勤続年数や離職率など、職員が長く働いている法人を選んでいく方法もあると考えています。</p> <p>職員の質の確保については、園長OBが定期的に巡回することが法人への意識付けになっており、また何か問題があれば、区が対応しており、これは続けていきます。</p>

項目	質問	回答
業務の 引き継ぎ	子どもへの負担を考慮し、現在の保育士が新園に最低でも1年残れる仕組みを考えてもらえないか。	<p>引継期間については、子どもへの負担や保護者の皆様からのご意見も考慮しながら検討していきたいと考えています。</p> <p>新園への区職員の派遣というのは、現状では難しいのではないかとと思いますが、これまでのやり方でよいか考えていきます。</p>
	1年間の引継期間の中で、きっちり引継ぎができるのか不安であるがどうか。	<p>町屋保育園では、園長と主任の候補者が1年前から定期的に来園して園全体の雰囲気や行事などを引き継ぎ、各クラスには、1月から3か月間、法人の先生（担任）が入りました。当時は、保護者の方も含め一定のご理解を頂き、スムーズに引き継がれたものと考えています。</p> <p>そのため、今回の引継期間の設定に当たっては、町屋保育園の事例を基本にしつつ、保護者の皆様のご意見も聞きながら検討していきます。</p>
	各クラスに入って行う3か月の引継ぎの中で、引継ぎの頻度はどの程度なのか。	<p>町屋保育園では、1月から3か月間、毎日全てのクラスに入って引継ぎを行いました。</p> <p>また、引継期間の人件費は、区が負担します。</p>
その他	<p>平成29年夏頃に事業者決定の報告と紹介とあるが、ここまでに至るスケジュールを教えてほしい。</p> <p>また、事業者を決める際の仕様書などがある程度できているのであれば示してほしい。</p>	<p>当初のスケジュールとして夏頃に決められればという思いはありますが、公募要項の案を決める段階で保護者の皆様のご意見やご要望を反映して作成することになれば、スケジュールは少し後ろにずれると思います。</p> <p>また、選定委員に保護者の方が入っていただくことになれば、選定過程の節目で、保護者の皆様のご意見をまとめたいただくなど、これまでの公募よりも長い期間が必要になると想定しています。</p>

項目	質問	回答
その他 (続き)	<p>選定委員に現場の保育士が少ないので入れてもらえるか回答してほしい。</p>	<p>選定委員会には保育士の園長が入る予定ですが、現場の保育士を委員に加えることについては検討します。</p> <p>現場の保育士は、選定された事業者との引継ぎを行う当事者であるため、選定委員には加えません。</p> <p>なお、町屋保育園における選定委員会では、選定委員に現場の園長や保育士は加えませんでした。</p>
	<p>年々、認可保育園数が増えているが、区立園希望者と私立園希望者の比率がどのようになっているか次回までに教えてほしい。</p> <p>あくまで区立と私立の希望倍率なので、特定の園の倍率ではないから算出できるのではないか。</p>	<p>保育園別の希望倍率は公表しておりませんが、区立と私立の施設種別ごとの公表については検討します。</p> <p>希望者の比率について、29年4月入園希望の1次審査対象の1,709名の第1希望園を集計した結果、区立園が約30%、公設民営園が約21%、私立園が約49%となりました。</p> <p>なお、29年4月に募集を行った46園の割合は、区立園が14園で約30%、公設民営園が8園で約17%、私立園が24園で約52%となり、入園希望者の比率とほぼ一致する結果となりました。</p>
	<p>近隣の方に対して説明会を行ったとのことですが、その場で出た質問や意見、要望などを保護者が聞くことはできるか。</p>	<p>近隣の方への説明会に参加して話を聞いていただくことは可能と考えています。</p> <p>これまでの説明会では、移転先である児童遊園の廃止やその中にある樹木がなくなることに対する不満や不安の声を頂いています。</p> <p>今後も引き続き、周辺住民の方への丁寧な説明に努めるとともに、次回以降の説明会については、保護者の皆様にもお知らせします。</p>